

タイムラインに対する期待

標茶町副町長 森山 豊

水位が上がり河川敷が完全に水没してしまった釧路川(21日午後4時)

釧路川増水 住民に避難勧告

8月21日～22日にかけて停滞した前線と台風11号の接近により総雨量、約170mmの大雨が本町を襲いました。大雨の影響で釧路川の水位が上昇し避難判断水位を上回ったため、桜・旭・平和・富士と麻生の一部、1152世帯2376人に避難勧告が出され、避難所へ744の方が避難しました。この大雨の影響により、床下浸水が25件、道道3路線と町道7路線が一次通行止めなどの影響がありましたが、幸いにも人的被害が発生しませんでした。

河川敷の樹木が今にも流されそうに(21日午後3時)



氾濫寸前のオモチャリ川(21日午後3時)



開発センター前の町道が冠水(21日午後4時)



オモチャリ川沿いのルルラン通りで冠水(21日午後5時)



増水したオモチャリ川の氾濫を防ぐため
ポンプ車による排水作業(21日午後6時)



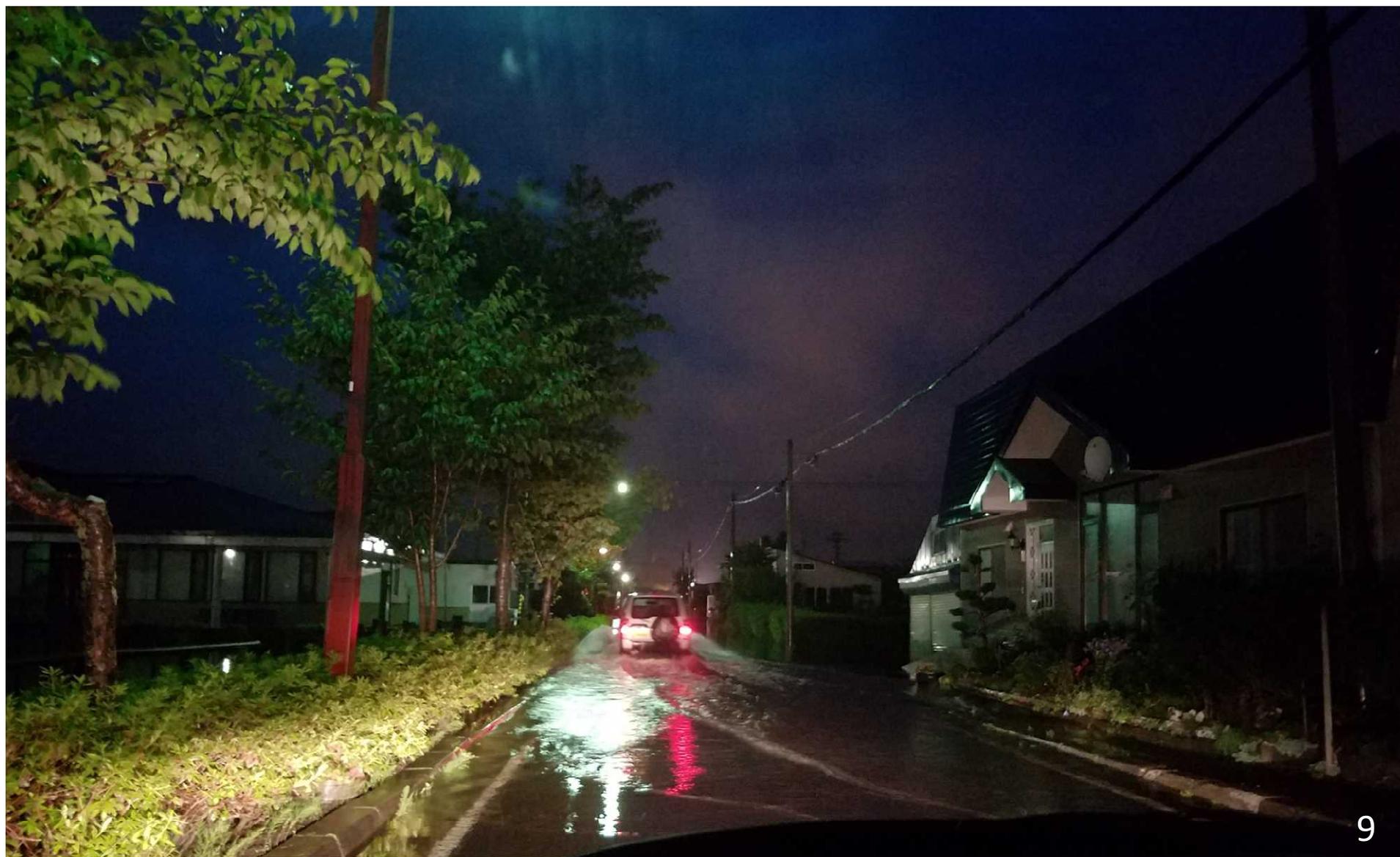
標茶町勤労者会館付近の道路が冠水し通行止めに(21日午後6時)



農業者トレーニングセンターに避難した町民たちは
不安な夜を過ごした(21日午後7時)



冠水した桜地区の道路(21日午後7時)



冠水により浸水寸前の標茶町勤労者会館(21日午後8時)



昨年8月台風災害後に行った防災体制の整備

- 災害種別毎の指定避難所を指定
- 避難行動要支援者名簿の作成
- 排水ポンプ車出動時における応援協定の締結
- 釧路川総合水防演習の実施
- 防災研修（避難所運営能力向上研修会）の開催
- 浸水想定地域における自主防災組織の設立
（桜町内会自主防災組織）
- 防災ハンドブックの作成及び全戸配布
（平成30年1月完成予定）

タイムラインに期待すること

1. 避難勧告等発令タイミングの判断材料として期待
2. 住民の自主避難の判断材料として期待
3. 対策本部、関係機関、住民が、事態の把握や準備、スムーズな行動につながることに期待
4. 検討会を通じた「関係機関との顔が見える関係」構築に期待